



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月24日

上場会社名 株式会社シマノ 上場取引所 東
 コード番号 7309 URL https://www.shimano.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島野 泰三
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務管理部長兼経理部管掌 (氏名) 金井 琢磨 (TEL) 072-223-3254
 四半期報告書提出予定日 2023年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	375,264	△19.8	72,086	△43.0	96,221	△35.8	60,169	△47.0
2022年12月期第3四半期	467,665	18.3	126,576	18.3	149,862	31.8	113,486	31.9

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 117,059百万円(△36.4%) 2022年12月期第3四半期 184,076百万円(74.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	665.35	—
2022年12月期第3四半期	1,245.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	900,347	825,551	91.6
2022年12月期	826,413	741,095	89.6

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 824,275百万円 2022年12月期 740,108百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	117.50	—	142.50	260.00
2023年12月期	—	142.50	—		
2023年12月期(予想)				142.50	285.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	462,000	△26.5	77,000	△54.5	105,000	△40.5	66,000	△48.5	730.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年12月期3Q	90,460,000株	2022年12月期	91,160,100株
-------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年12月期3Q	144,473株	2022年12月期	531,034株
-------------	----------	-----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年12月期3Q	90,433,672株	2022年12月期3Q	91,152,582株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は現時点において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定要因に対する仮定を前提としております。従って、実際の業績は内外の状況変化により異なる結果となる場合がありますのでご承知おき下さい。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の3ページを参照して下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におきましては、引き続き混迷を深めるウクライナ情勢、インフレ抑制のための各国中央銀行による利上げや中国経済回復の鈍化などが下押し要因となり、世界経済の回復基調は弱含みとなりました。

欧州では、利上げによるインフレ圧力の低下が個人消費を部分的に下支えたものの、景気は力強さを欠きました。

米国では、金融引き締めが続くなか、良好な雇用情勢や実質賃金の上昇から、消費者マインドは改善の兆しを見せはじめました。

中国では、経済活動は再開したものの、顕著となった不動産市場の不安や個人消費の鈍化により、景気回復は緩慢なものになりました。

日本では、経済活動の正常化が進み、個人消費やインバウンド需要などの後押しを受けて、緩やかな景気回復が続きました。

このような環境の下、自転車、釣具への需要は引き続き弱含みであり、当第3四半期連結累計期間における売上高は375,264百万円（前年同期比19.8%減）、営業利益は72,086百万円（前年同期比43.0%減）、経常利益は96,221百万円（前年同期比35.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は60,169百万円（前年同期比47.0%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 自転車部品

自転車人気の過熱感は一服したものの、長期的なトレンドとして自転車への関心は高いまま継続しました。一方で、引き続き需給調整は進んでいるものの、市場在庫は総じて高い水準で推移しました。

海外市場において、欧州市場では、主要な市場であるドイツをはじめベネルクス諸国での自転車への高い関心は継続し、完成車の店頭販売は底堅く推移したものの、市場在庫は高い水準が継続しました。

北米市場では、完成車の店頭販売は弱含みで推移し、市場在庫の調整は進んでいるものの、依然高い水準が継続しました。

アジア・オセアニア・中南米市場では、自転車への関心は底堅かったものの、インフレの高進や経済不安の影響を受けた消費者マインドの冷え込みにより、完成車の店頭販売はやや低調に推移し、市場在庫は高い水準で推移しました。一方、中国市場では、アウトドアスポーツとしてのサイクリングの人気の継続したことにより、ロードバイクを中心に販売は好調に推移し、市場在庫は適正な水準を維持しました。

日本市場においては、円安による完成車価格の高騰や消費者の買い控えの影響を受けて店頭販売はやや低調となり、市場在庫はやや高めに推移しました。

このような市況の下、12段変速となった「105」やグラベル専用コンポーネント「SHIMANO GRX」などの新製品にご好評をいただきました。

この結果、当セグメントの売上高は289,443百万円（前年同期比24.8%減）、営業利益は55,917百万円（前年同期比48.8%減）となりました。

② 釣具

釣具に対する世界的な高需要は落ち着いたものの、アウトドアレジャーとしての釣りへの関心は継続しました。

日本市場においては、レジャーの選択肢が多様化するなか、物価高や天候不順の影響を受け、コロナ禍で増えた新規ファミリー層や初心者層は減少し、普及価格帯製品の販売は鈍化した一方、従来からのコアな釣り人による高価格帯製品の購入意欲は堅調でした。

海外市場においては、北米市場では、販売は依然として弱含みで推移したものの、高価格帯製品については高い需要が継続しました。

欧州市場では、一部地域での需要は安定していたものの、夏の天候不順の影響もあり、販売は力強さを欠きました。

アジア市場では、中国市場における高価格帯製品の需要は高く、販売は好調を維持しました。

豪州市場では、良好な釣況も手伝い製品需要が活発になり、販売は堅調に推移しました。

このような市況の下、新製品のスピニングリール「STRADIC」や「BB-X DESPINA」をはじめ、引き続きスピニングリールの「VANQUISH」などの製品に多くのご注文をいただきました。

この結果、当セグメントの売上高は85,472百万円（前年同期比3.4%増）、営業利益は16,200百万円（前年同期比7.3%減）となりました。

③ その他

当セグメントの売上高は348百万円（前年同期比2.5%減）、営業損失は31百万円（前年同期は営業損失24百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は900,347百万円（前連結会計年度比73,933百万円の増加）となりました。これは、現金及び預金が81,134百万円、投資有価証券が4,883百万円、建設仮勘定が4,707百万円、繰延税金資産が3,770百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が18,386百万円、仕掛品が8,321百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

負債合計は74,795百万円（前連結会計年度比10,522百万円の減少）となりました。これは、製品保証引当金が16,658百万円増加し、未払法人税等が16,827百万円、買掛金が9,296百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

純資産合計は825,551百万円（前連結会計年度比84,456百万円の増加）となりました。これは、為替換算調整勘定が54,764百万円、利益剰余金が17,942百万円それぞれ増加し、自己株式が9,701百万円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間において、依然として市場在庫は高い水準で推移しており、先行き不透明な状況は今後も続く見通しであるものの、今季春先の天候不順による当社グループへの注文見直しについては想定していた水準を下回ったこと、またドル高の進行に伴うアジア通貨安の影響から営業外収益が発生した一方で、一部製品を対象とした無償点検プログラム実施による、無償点検及び無償交換に伴う費用の引当を無償点検関連費用として特別損失に計上したこと等を踏まえ、次のとおり変更いたします。

なお、無償点検プログラムの詳細につきましては、本日公表しました「シマノ クランク無償点検プログラムによる特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

2023年12月期 通期連結業績予想数値の修正（2023年1月1日～2023年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	450,000	70,000	93,000	69,000	763.24
今回修正予想 (B)	462,000	77,000	105,000	66,000	730.77
増減額 (B-A)	12,000	7,000	12,000	△3,000	
増減率 (%)	2.7	10.0	12.9	△4.3	
前期実績 (2022年12月期)	628,909	169,158	176,568	128,178	1,408.22

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	430,429	511,563
受取手形及び売掛金	55,201	36,814
商品及び製品	79,966	80,516
仕掛品	42,733	34,412
原材料及び貯蔵品	8,209	6,711
その他	12,523	13,223
貸倒引当金	△310	△413
流動資産合計	628,754	682,827
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	77,239	78,132
機械装置及び運搬具(純額)	25,600	27,492
土地	13,936	14,269
リース資産(純額)	5,205	5,562
建設仮勘定	18,749	23,457
その他(純額)	6,513	6,404
有形固定資産合計	147,244	155,319
無形固定資産		
のれん	3,065	2,996
ソフトウェア	10,059	10,029
その他	6,716	8,715
無形固定資産合計	19,841	21,741
投資その他の資産		
投資有価証券	19,694	24,578
繰延税金資産	6,728	10,498
退職給付に係る資産	2,645	2,529
その他	1,941	3,290
貸倒引当金	△436	△438
投資その他の資産合計	30,573	40,458
固定資産合計	197,659	217,519
資産合計	826,413	900,347

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	20,595	11,298
短期借入金	2,151	209
未払法人税等	21,899	5,072
賞与引当金	3,682	4,283
役員賞与引当金	198	101
製品保証引当金	1,393	18,052
その他	28,688	28,087
流動負債合計	78,608	67,105
固定負債		
繰延税金負債	2,522	3,167
退職給付に係る負債	1,210	1,395
その他	2,976	3,127
固定負債合計	6,709	7,690
負債合計	85,318	74,795
純資産の部		
株主資本		
資本金	35,613	35,613
資本剰余金	5,640	5,640
利益剰余金	638,141	656,083
自己株式	△12,909	△3,207
株主資本合計	666,485	694,129
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,537	5,296
為替換算調整勘定	70,085	124,849
その他の包括利益累計額合計	73,623	130,145
非支配株主持分	986	1,276
純資産合計	741,095	825,551
負債純資産合計	826,413	900,347

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)
売上高	467,665	375,264
売上原価	269,385	228,687
売上総利益	198,279	146,576
販売費及び一般管理費	71,702	74,489
営業利益	126,576	72,086
営業外収益		
受取利息	2,878	13,773
受取配当金	479	615
為替差益	20,934	10,227
その他	924	816
営業外収益合計	25,216	25,432
営業外費用		
支払利息	100	152
寄付金	1,100	943
自主回収費用	471	144
その他	258	57
営業外費用合計	1,930	1,298
経常利益	149,862	96,221
特別損失		
無償点検関連費用	-	17,074
減損損失	618	-
子会社再構築費用	460	-
子会社株式売却損	98	-
工場建替関連費用	801	833
特別損失合計	1,979	17,908
税金等調整前四半期純利益	147,883	78,312
法人税、住民税及び事業税	35,673	22,111
法人税等調整額	△1,469	△4,166
法人税等合計	34,203	17,945
四半期純利益	113,679	60,367
非支配株主に帰属する四半期純利益	193	197
親会社株主に帰属する四半期純利益	113,486	60,169

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	113,679	60,367
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△981	1,758
為替換算調整勘定	71,378	54,934
その他の包括利益合計	70,396	56,692
四半期包括利益	184,076	117,059
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	183,707	116,692
非支配株主に係る四半期包括利益	368	367

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2022年4月26日開催の取締役会決議に基づき、東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)により、2023年3月14日に普通株式227,600株を取得しました。また、2023年4月25日開催の取締役会決議に基づき、東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)により、2023年8月9日に普通株式88,000株を取得しました。この結果、単元未満株式の買取りによる増加も含め、当第3四半期連結累計期間において自己株式が6,784百万円増加しております。

(自己株式の消却)

当社は、2023年4月25日開催の取締役会決議に基づき、2023年5月2日に自己株式700,100株の消却を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金が16,429百万円、自己株式が16,429百万円それぞれ減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2022年1月1日至2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
一時点で移転される財	384,654	82,653	357	467,665	—	467,665
一定の期間にわたり移転 される財	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	384,654	82,653	357	467,665	—	467,665
外部顧客への売上高	384,654	82,653	357	467,665	—	467,665
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	384,654	82,653	357	467,665	—	467,665
セグメント利益又は損失(△)	109,119	17,482	△24	126,576	—	126,576

(注)1 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 売上高には、顧客との契約から生じる収益とそれ以外の収益を含めておりますが、そのほとんどが顧客との契約から生じる収益であり、その他の収益に重要性はないため、区分表示しておりません。

当第3四半期連結累計期間(自2023年1月1日至2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
一時点で移転される財	289,443	85,472	348	375,264	—	375,264
一定の期間にわたり移転 される財	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	289,443	85,472	348	375,264	—	375,264
外部顧客への売上高	289,443	85,472	348	375,264	—	375,264
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	289,443	85,472	348	375,264	—	375,264
セグメント利益又は損失(△)	55,917	16,200	△31	72,086	—	72,086

(注)1 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 売上高には、顧客との契約から生じる収益とそれ以外の収益を含めておりますが、そのほとんどが顧客との契約から生じる収益であり、その他の収益に重要性はないため、区分表示しておりません。